

北海道地域福祉学会 2025年度 全道研究大会

北海道における 包括的な支援体制

地域福祉実践を基盤とした体制構築を目指して



講演 包括的支援体制の構築と地域づくり
講師 菱沼 幹男 氏

日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉計画学科 教授／日本地域福祉学会理事

★参加特典★

研究会終了後一定期間アーカイブ配信を行います。（映像収録の不良により配信できない場合がありますのでご了承ください。）

2月15日 (日)

会場：北星学園大学C館4階 / オンライン参加可能

【第1部】10:00～12:00 自由研究発表・実践研究発表（対面実施のみ）

【第2部】13:00～17:00 講演／シンポジウム

※第1部は対面実施とし、オンライン参加はできません。第2部はオンライン参加が可能です。

>>> お申し込み・開催要綱等詳細はコチラ >>>>>>>>>>>

<https://hacd.jp/competition/2025taikai>



北海道地域福祉学会

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南2丁目7-28 一般社団法人Wellbe Design内

✉ info@hacd.jp
☎ 011-801-7450

主催：北海道地域福祉学会 共催：日本地域福祉学会北海道支部

後援：社会福祉法人北海道社会福祉協議会／一般社団法人Wellbe Design

第1部（対面実施のみ）

自由研究発表・実践研究発表

- 当学会会員による発表を行います。
- 会員以外の皆様もご参加いただけます。
- 発表内容は2月9日頃に当学会ホームページに公開します。

申込期日

2月9日(月)

研究発表は2月6日(金)締め切り

第2部（対面・オンライン併用）

講演 包括的支援体制の構築と地域づくり



講師 菱沼幹男氏

日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉計画学科 教授
日本地域福祉学会理事



市社会福祉協議会、デイサービスセンター生活相談員等を経て現職。専門は、地域福祉、コミュニティソーシャルワーク。東京、埼玉を中心に各地の地域福祉計画、地域福祉活動計画策定・改定に関わる中で、重層的支援体制整備事業のアドバイザーも務める。主な著書として『コミュニティソーシャルワーク』有斐閣、2024年。

シンポジウム：地域福祉実践を基盤にした北海道内の多様な実践

シンポジスト

- 生活困窮者支援と地域福祉の文脈からみた包括的な相談支援・地域づくり
北星学園大学 社会福祉学部 教授／本学会副会長 松岡 是伸 氏
- 圏域ごとに支援員を配置して展開する地域支援
社会福祉法人旭川市社会福祉協議会 地域共生課 課長補佐（統括支援員）柴田 淳 氏
- 包括的支援体制における多機関共同の仕組みづくり
社会福祉法人津別町社会福祉協議会 地域福祉係 係長 立花 さおり 氏

参加費

①会員及び会員団体：無料

②非会員：2,000円

③学生（院生を除く）：無料

④団体：5,000円

同一組織の所属員であれば何名でも参加可能

当学会の団体会員は①の区分とし、無料で参加可能

※必ず開催要綱を確認してからお申し込みください。

北海道地域福祉学会について

当学会は1992年に「市町村は地域福祉を担えるか」をテーマに開催された第6回日本地域福祉学会北海道大会を契機に1993年10月9日に創設し、以来、福祉・保健・医療のみならずNPO等の市民団体などの幅広い分野の会員と共に30年にわたる地域福祉研究を行ってきました。

北海道内外の地域福祉実践者や研究者など約100名が所属し、研究活動や機関紙「北海道地域福祉研究」の発行、地域福祉優秀実践賞の顕彰を行っています。

地域福祉にかかわる皆さまの入会を心よりお待ちしております。

年会費

個人5,000円

団体10,000円